

ティーチング・ステートメント

所属 薬学部薬学科
名前 丁野 純男
作成日 2021年3月9日

【責任】

所属学科において専門科目である製剤学を中心とした教育・研究活動を行なっている。主たる学生教育活動は、「製剤学」、「衛生・医療薬学実習」および「卒業研究」であり、学生には安定した専門的基礎力を身に付けさせ、その先には研究マインドの醸成を見据えている。また、学生に対しては、卒業後の多様な進路を知り、積極的にキャリア研究をして欲しく、キャリア支援にも力を注いでいる。

【理念】

学生には、生涯にわたり考える力すなわち研究マインドを持って学び続けることで、自らの価値を最大限に発揮し、他者と差別化して活躍できる場所を自身で発見・創出することのできる人材になって欲しい。今後は、機械化やオンライン化などにより、これまでのように雑務をこなすための多くの人手を必要としなくなる時代を迎える。また、健康寿命の延びにより「労働年数」が長くなると同時に、テクノロジーの発達や社会の変化により「労働環境」が著しく変容することが予想されるため、旧来の終身雇用を前提としたオールマイティな働き方ではなく、専門性を発揮したクロスアポイントメント労働、複業、起業や転職などが一般化し、プロフェッショナルな人材や働き方が求められる時代になるだろう。将来、薬学のどの進路に進むにしろ、学生には学生のうちに専門的基礎力を定着させ、さらには研究マインドを身につけ、他者とは差別化したプロフェッショナルな人材となって方々で活躍して欲しい。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、「製剤学」（座学：薬を創る学問，3年次開講）では、自著出版した教科書と問題集を使い、さらに講義と演習を組み合わせることで、授業中に専門的基礎力を定着させることを指向している。また、「衛生・医療薬学実習」（実習：製剤学の実験，3年次開講）では、大半の時間を実験に使い、実験手法の妥当性や実験結果の考察を通じて、考える力を養っている。さらに、「卒業研究」（4-6年次開講）では、研究テーマに沿って学生自身が主体的に実験することを重視し、一人でも多くの学生が研究マインドを身につけられるよう、過剰ならず不足せずの方針で研究遂行をサポートしている。キャリア支援では、学生には多様な進路を知ってもらい、最適な進路に進んでほしいとの思いがある。

方針1 専門的基礎力を定着させる

方法1 「製剤学」

自著の教科書*と問題集**を用い、さらに講義と演習を組み合わせることで、学生は教科書の文章を読んで問題を解いて理解を深め、専門的基礎力を定着させることができる。座学で学んだことを実習・卒業研究を通じて、より深く理解する。2020年度には、Moodle上で小テスト実施・課題提出を行い、オンライン化を促進した。

* <https://kyoto-hirokawa.co.jp/books/detail.php?id=14902652308>

** <https://kyoto-hirokawa.co.jp/books/detail.php?id=14902656497>

方針2 考える力を養う

方法2 「衛生・医療薬学実習」

実験を通じて実験手法の妥当性や実験結果を考察することで、考える力を養うことができる。考える力は口頭試問やレポートにてルーブリック評価し、学生にフィードバックすることで、学生・教員間で共有している。

方針3 研究マインドを身につける

方法3 「卒業研究」

学生自身が主体的に考えて研究計画を立案・実行することに意義を見出している。一人でも多くの学生が研究マインドを身につけられるよう、教員が持ち合わせている技術や経験を過剰ならず不足せずの方針で提供し、研究の遂行をサポートしている。

方針4 多様な進路を知る

方法4 「キャリア支援」

卒業研究配属学生に対し、様々な業種に築いている知人を講師として招き、就職勉強会を開催している。具体的には、病院、薬局、血液センター、製薬企業などから講師を派遣いただき、年に数回ほど実施している。

【成果・評価】

- 「製剤学」および「衛生・医療薬学実習」の授業評価アンケートでは、専門的基礎力と考える力が身に付いたとして、大半の学生が満足と回答している。
- 研究マインドを身につけた一部の学生が卒業研究開始前から研究を始めるようになり、また大学院に進学する学生が増えてきた。
- 卒業研究配属学生が病院、薬局、血液センター、製薬企業など多様な業種に就職するようになってきた。

【目標】

短期

- 「製剤学」および「衛生・医療薬学実習」で専門的基礎力の定着させることと考える力を身につけることについては、現状で概ね達成できているため、今後もこれを維持・継続する。
- 学生の就職についても、現状で概ね達成できているため、今後もこれを維持・継続する。

長期

- 我々の後進の研究者を養成できるよう、研究マインドを身につけた学生を一人でも多く教育し、大学院生がコンスタントに入学する研究科を目指す。